

EPA 学習支援方法 第 2 章

整理整頓が必要な受験者の大脳の中！！

- ★ 先月の【月報】では、「受験者の大脳の中は一体、どうなっているのか？」を掲載した。その結果、タイトルが面白かったのか、大きな反響があった。
- ★ 今月号では、「ゴミ箱状態の大脳」をどうすれば、整理整頓できて、日本語能力を向上させることができるかを、分かり易くご紹介する。
- ★ また、「国家試験受験能力」を身につけるためには、【五つの言語能力】が整理整頓するために、絶対必要不可欠な知識だと認識してほしい。
- ★ この【五つの言語能力】を分かり易く掲載するので、指導に活用して頂きたい。また、2 頁下段の設問を解いて、言語能力を点検してみよう。

I、【「日本語の規則性と用法」で、大脳の整理整頓を！】

- 図 1 に表しているように、人間の言語能力には五段階の能力がある。この能力を【五つの言語能力】という。
第一には、【日本語の規則性】は、人間の体に例えると、「骨格」といえる。この「骨格」が言語にもあり、「国語教育では、国文法」という。日本語力を高めるためには、【規則性】が絶対必要だ。外国語としての日本語を考えた場合は、「骨の仕組み（文法）」が理解できないと、正しく試験問題を読解できず、上手に日本語を操れない。よって、人間の「骨格」と同じ働きをする【規則性】に対する理解を、他の四つの言語能力の基盤となる能力と、位置づける必要がある。
- 第二に、骨格並びに、その仕組みを理解することは、【日本語の規則性】を理解することとなる。（絵 1～3 参照）
その結果、「日本語の使い分け方」、即ち【日本語の用法】に対する知識を身につけなければならない。もし、この【用法】が身につかず、【規則性】だけで日本語を使った場合は、「間違った日本語の使い方」となってしまう。
【日本語の用法】は、「人間関係を円滑に行う」時に必要で、重要な能力だ。「自分の意見を相手に伝達する」時に、相手に対して、不快感や違和感を与えずに、意思疎通ができる能力だ。だから、【規則性】の次に重要となる。

図 1、【五つの言語能力】



II、【「運用・活用能力」を養えば、実務能力が高まる！】

- 【日本語の運用力】とは、【規則性と用法】の知識を基にして、目的に合わせて「言葉を使い分ける能力」をいう。
例えば、社会用語の「利用者」は、介護関係者では「施設の利用者」という意味で、通称「利用者さん」という。しかし、病院では「利用者」である病人を「患者さん」と、はっきり専門用語として使い分けをしている。このように、社会用語が専門領域で「意味が少し異なって、用いられる用語」が沢山ある。受験者は、このような「転用語」については、運用能力がなければ「意味不明な言葉」として捉える。
- 【活用能力】とは、日本語力を活かして「自分の意思を相手に伝え、目的を果たす能力」をいう。
受験者にとっての【日本語の活用能力】とは、国家試験問題を「正確に読解して、選択文から正解文を選ぶ」受験能力のことだ。
- 即ち、「絵 4」の【運用・活用能力】がなければ、国家試験は不合格になる。今までの不合格者の多くは、この【運用・活用能力】が無かったからだ。
国家試験合格のためには、【活用能力】までが必要だ。



III、【「利用能力」があれば？！】

- 【日本語の利用能力】とは、身につけた日本語力を基にして、「生活を営むことができる能力」をいう。（絵 5 参照）
例えば、職業として一般的なのは、「通訳・翻訳」などが知られている職業だ。
- 【利用能力】があれば、「正しく日本語を操る能力」があるので、その結果として、対価を得られ、生活ができるのだ。

受験者が楽しんで、勉強できる学習とは？ ～勉強するより、働くほうが効果が上がる～

IV.【楽しんで学習するために！！】

- 図2は、事業団が入職後の学習時間を調査したものを、分かり易くするために表にした。この表から見ると、勤務時間内の学習時間量が、異常に多いことが分かる。
- 月あたり、勤務時間内に約30時間、時間外に約20時間、合計で約50時間も学習している。しかし、合格率は今年でやっと50%台に達したが、低迷状態で決して良い結果とはいえない。これは、学習時間の割に効果を出せていない。
- 即ち、3年間の学習が無計画で、形式的な教育の実態を表している。また、学習時間量に対して、受験者の日本語力の到達度が低いことを、国家試験の合格率が証明している。
- 【体得で教育効果を高める方法】は、「現場で仕事を通じて実務技術を身につけ」、同時に、「専門用語と専門知識をも習得」できる方法だ。併行して、「受験者の興味と関心事を満たす」ことができ、日本語能力も向上することが特徴だ。
- この方法が、【楽しんで勉強できる学習方法】だ。また同時に、「受験者の学習意欲」と「日本語に対する【五つの言語能力】」を意識的に学ぶ思考性が確立される。その結果、この方法は、高い教育効果を導き出し、国家試験合格に結び付く。これは、「現実的で、即効性のある方法」だ。

図2.【EPA介護士受験者の学習時間累計表】

※ この表は、受験者が入職時から受験日まで、の勤務時間内を含む時間数を表した表。10
※ 出典 H24年度巡回研修報告書

	週	月	年	3年間
■ 勤務時間内	7.3	29.2	350.4	1051.2
■ 勤務時間外	4.9	19.6	235.2	705.6
■ 合計時間	12.2	48.8	585.6	1756.8

【楽しく学習するための具体的な方法！！】

1. 「楽しく学習する」とは、受験者が自分自身の精神的な満足と、関心度が高まることだ。
2. 「関心度を高める」ためには、客観的な「自分の到達度」を、【数値】で見せる環境を用意することだ。
3. 「精神的な満足」を得るためには、「現在の自分の言語能力の到達度」と、「実際に日本語を使い、意思疎通ができる実感」を得られる環境が必要だ。
4. 学習面だけではなく、職場の中での「仕事を通じての日本語力」の体感を得られることで、「精神的な満足」を得られるのだ。

あなたは、【五つの言語能力】が本当にあるのか？ 自分自身の能力を考えてみよう！！

- ★ 最近の日本語の乱れは、目に余るものがある。その中で、外国人が日本語を学ぶ時に「正しい日本語と思い込んで使ったら、日本人におかしい」と、笑われた。
- ★ しかし、日本語教育では、日本語の【規則性・用法】をテキストを基に学び、正しい日本語を習得したのに、「なぜ、自分の日本語がおかしいのかが、理解できない」と、悩んでいる。
- ★ 実は、日本人自身の「言葉の使い方」が間違っていることに、気づいて驚いた。そこで、あなたの日本語を点検しよう。

- 日本人は、言葉を「生活習慣」の中で無意識に使いこなしている人が多い。そのため、使っている言葉に対し、厳密に意識することが少ない。
- しかし、社会生活では様々な「契約書や取り扱い説明書」などでは、言葉に対して定義づけが厳密にされている。即ち、社会では【五つの言語能力】がなければ、社会活動ができない。

- 設問 1、喫茶店で店員が「コーヒーになります」という表現を聞くが、A・違和感を感じるか、B・否か。
- 設問 2、A・患者さんが「熱を出しました」と、B・患者さんは「熱が出ました」は、どちらが正しいか。
- 設問 3、A・「大阪に行く」と、B・「大阪へ行く」は、どちらが正しいか。
- 設問 4、A・「口口してもらってもいいですか」と、B・「口口して頂けませんか」は、どちらが正しいか。
- 設問 5、A・「口口を食べない？」と、B・「口口を食べませんか？」は、どちらが正しいか。

- ※ ※ 2 問正解者は、【規則性】が理解できている。
3 問正解者は、【規則性と用法】が理解できている。
4 問正解者は、【規則性・用法・運用】が理解できている。
5 問全問正解者は、【活用】能力がある。
※ 全問不正解、あるいは、1 問だけ正しい人は、日本人でありながら、【規則性や用法、運用】などについて、無知でただただ、生活習慣的に日本語を使っている人といえる。
答え) 設問 1A 設問 2B 設問 3A 設問 4B 設問 5B

施設の声

一年経っても、介護日誌が書けない候補者！！

- 当施設では、ベトナムとインドネシア人を受け入れている。来日直後の集中教育を受けたにも関わらず、入職したての時は、両国とも日本語慣れしていなかった。現場に入って、利用者さんや職員と対応し始めるようになって、「話す力・聞く力」が少しは身についた。
- 昨年入ったベトナム人は、既に夜勤業務もこなして、記録も書ける状態にはなっている。一方、インドネシア人は、書くことに自信が持てないようで、「間違ってもいいから書いてみなさい」と言っても、書くことに対して消極的だ。職員としては、介護記録はPCで入力できるようにしているので、何としても書かせたいができない。
- 毎回、事業団から沢山の教材が送られてきて、あまりにも多くて、受験者は消化しきれていない。本当に、事業団教材を全部使いこなしているのか、他の施設の声を是非、聞きたい。
- 事業団の試験は、試験の範囲が決まっているので、まじめに勉強するベトナム人の方が点数が高い。しかし、試験範囲が決まっているので、どの国の人も、少しまじめにすれば、高い得点が取れて当たり前だと思うし、本当に意味がある試験なのかとも感じているが、他の施設の人はどうだろうか。

(神奈川県・S施設)

「新規受け入れ」機関の声

- 初めての受け入れなので、住環境の整え方や候補者対応の仕方、学習時間のとり方など、受け入れの前準備をしっかりと、会議等で決めていこうと思うが、どの程度、準備すれば良いのかが分からない。(奈良県・Y施設)
- 仕事のさせ方、生活習慣、言葉のあり方など知りたいことは沢山あるが、10月に研修センターで候補者と顔合わせがあるので、その時に、学習状況や言葉のレベルを確認しつつ、対応方法も検討していこうと思っている。しかし、対応の仕方が初めてなので、全く分からないから、良いアドバイスがあれば聞きたい。(岡山県・U施設)
- 住居については、アパートを考えている。男性二名と女性一名なので、男性は2LDKの部屋をシェアして住まわそうと思っていた。しかし、ことばの研究社に相談した時、「別々にしたほうが良い」と、アドバイス頂いた。それを受けて、施設内で再検討してみることにした。

(和歌山県・R施設)

ベトナム人は、主張が多くて困惑・・・！！

- ベトナム人は、仕事も勉強もまじめに取り組み、特に、勉強は職員が言わなくても、一人でコツコツ学習している。一方、フィリピン人の勉強に対する姿勢は、職員が厳しくチェックしないと、怠ける癖があり、日本語もあまり上達しないので、指導に頭を悩ませている。
- しかし、仕事の面では、ベトナム人は主張が多く、やりにくい。その反対に、フィリピン人は、いつもニコニコして、利用者とも上手くいっている。他のベトナム人やフィリピン人を受け入れた施設はどうか、感想を是非、聞きたい。

(岐阜県・S施設)

事業団の前宣伝と違うベトナム人・・・！！

- 事業団が積極的に受け入れを勧めているベトナム人について、感じたこと。最低でもN3を取得していて、意思疎通は問題ない。他の国と比べて、まじめで、しっかりと仕事をする。このような話しだったが、実際に受け入れてみると、日本語力が高いとは思えない。他の施設の皆さんは、どう感じておられるのか。
- 必ずしも、全員が事業団が言うような人材ではないので、ベトナム人にこだわらずに、今後は他の国からの受け入れをしていこうと思う。

(愛知県・Y施設)

さらに、受け入れ対応・指導が必要！！

- ベトナム人二名を受け入れて、首都大学東京に通学しながら学び、毎月職員がテストも作成して実施させている。その結果、受験者の弱点も見えてきた。促音や長音が弱いこと等が分かった。
- 国にこだわらず、今後も受け入れをしていく予定でいるので、職員側の教える知識や受験者対応も、もっと学んでいかなければ、有能な労働力確保ができないと考えている。

(千葉県・H施設)

受験能力がつくかが、心配・・・！！

- フィリピン人を受け入れているが、漢字がどうしても難しいようで、覚えては忘れ、覚えては忘れる状態だ。しかし、事業団のテストの読解問題などは、文書中の漢字が読めなくても、流れで理解できるみたいだ。しかし、正しく解くことができないが、以前よりは、少しはましになった。
- 受験対策にも入るため、いつまでも公文で学習するわけにはいかないから、対策を考えないといけない。お国柄もあるかもしれないが、まだ危機感がなく、ダラダラ学習している状態なので、国家試験を受ける能力がつくかが心配だ。

(沖縄県・A施設)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究所

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かき (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試2レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイプ授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。 「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		

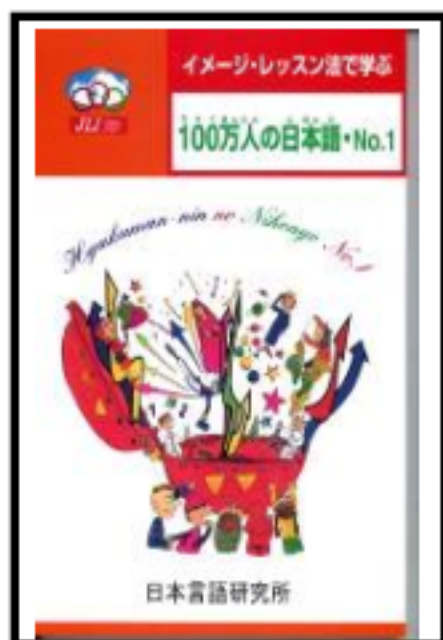
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・電話の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 8-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル

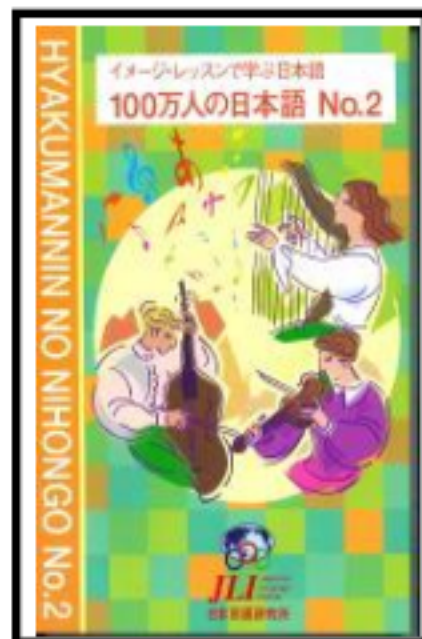


【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

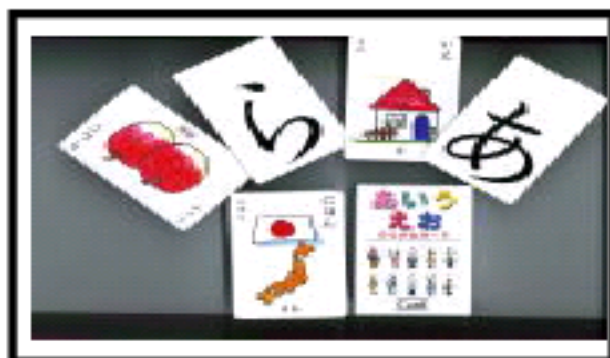
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

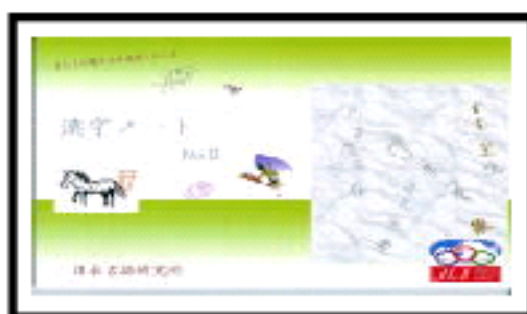
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)